

ぜひ知って
もらいたい!

2008年 テニスルールとコードの解説

テニスを楽しむ多くのテニス愛好家のみならず、プロフェッショナルテニスプレーヤーを目指すジュニアの皆さまに、ぜひ知っていただきたいテニスルールとコードオブコンダクト(通称コード)を紹介します。

プレーヤー同士が気持ちよくプレーをするために、観客が気持ちよくテニスを観戦できるように、大会開催者がスムーズな運営をするために、ぜひルールとコードを守ってください。*詳細についてはJTA発行のテニスルールブック2008を参照してください。

テニスルール(抜粋・国際大会・国内大会共通) 8 - 38 ページ

規則 21 サーブとレシーブをするとき 17 ページ

サーバーはレシーバーの用意が出来るまでサーブをしない。

レシーバーはサーバーの理にかなったペースに合わせてサーバーがサーブを打とうとする前に構える。

*わざとサーバーを待たせるとコード違反になる。

規則 26 妨害 20 ページ

インプレー中、故意に相手のプレーを邪魔した場合、その選手は失点する。

無意識にプレーを妨げた場合、または何かの物体がコート外から進入しプレーを妨げた場合はポイントのやり直しとなる。

*プレー中に大きな声を出したり、音を立てたりして相手のプレーに悪影響を及ぼしたとアンパイアが判断した場合、故意の妨害で失点する。

規則 27 誤りの訂正 21 ページ

誤りが発見されたとき、誤りに気づくまでにプレーしたポイントは、原則としてすべて有効とし、その誤りを直ちに訂正する。

*サーバーの順番、サーブする位置、エンドの交代は直ちに訂正する。

*ダブルスレシーバーの隊形、タイブレーク中のサーバーの訂正などは直ちに訂正しないケースがあるのでルールブックを参照する。

規則 29 連続的プレー 23 ページ

原則として試合開始から試合が終わるまでプレーは連続的に行われる。

1、ポイントが終わった瞬間から次のポイントの第1サーブが打たれるまでに許される時間は、ポイントとポイントの間は20秒以内、エンド交代は90秒以内、各セットの終わったときは120秒以内。

各セット第1ゲーム終了後とタイブレーク中はエンド交代時の休憩はない

2、ウエア、シューズなどラケット以外の用具が破れたり壊れたりしてプレーができない場合は、交換のために必要な時間延長が認められる。

* 主審に申し出て許可を得る。

3、試合中、怪我または体調が悪くなったときは、手当てをしてほしいと主審にリクエストできる。手当てが許可される症状であれば、エンドチェンジあるいはセットブレイク時に1回3分以内の手当てを受けることができる。

トイレ、着替え(女子のみ)のための中断はセットブレイク時に限る。その許される回数は3セットマッチで男子1回 女子2回 ダブルスチームで2回

付則 マッチタイブレイク(10ポイント) 29 ページ

3セットマッチの試合でセットスコアが1セットオールになったとき、タイブレイクゲームを行って試合の勝敗を決める。このタイブレイクは最終セットの代わりとなる。相手より2ポイント以上離して先に10ポイント取ったほうが、試合の勝者となる。

付則 ボールマークチェック (ball mark inspection=BMI) の手順 32 ページ

- 1、 BMIはクレコートのみで行われる。
- 2、 プレーヤーがBMIを要求できるのはエンディングショットか、プレーヤーがプレーを止めたときに限られる。
- 3、 主審がボールマークを確認し判定をした場合は、その決定は最終でそれ以上アペールをすることはできない。
- 4、 主審のつく試合では、プレーヤーはボールマークの調査をする目的でネットを越えてはいけない。コード違反となる。

* セルフジャッジの試合ではネットを越えて調査することができる。

試合中のトラブル解決方法

ルールブックにはトラブルの解決方法が「試合で起こる Q&A」として39ページに記載されています。ぜひ参考にしてください。

コード オブ コンダクト(通称コード) 81 - 90 ページ

コードは、大会会場および試合コートにおいて、プレーヤーのスポーツマンシップを高揚させ、プレーヤーとして責任ある言動に努めるよう、コートマナーと諸規則を遵守させることを目的としています。試合中の違反に対して警告、失点、失ゲームを科されるか、あるいは失格する場合があります。

エントリーとウィズドロー 83 ページ

エントリーとウィズドローは、大会主催者および参加選手に迷惑をかけないよう期日

までに行う。*急なケガや病気でウィズドローする場合は、直ちに大会レフェリーへ書面で連絡(ファックス)をし、確認をする。

試合でのコード 83 ページ

- 1、時間を守る
レフェリーが発表した試合開始時刻、サインイン締切り時間への遅刻をしない。
- 2、服装
清潔でプレーにふさわしいテニスウエアを着用する。ロゴマークの規制、色の規制などが不明な場合は事前にレフェリーに聞く。
- 3、公式行事への出席
レセプション、式典、記者会見など公式行事へは必ず出席をする。
- 4、タイムバイオレーション(時間の違反)
のろのろとスローペースで、時間内にサーブを打たなかったり、レシーブの構えをなかなかせず、サーバーを待たせたりしてはいけない。
- 5、ボールの乱用・ラケットの乱用
怒りをこめてボールをコートの外へ打ち出したり、危険な方向へ打ったり蹴ったりしてはいけない。また、ラケットを乱暴に叩きつけ破損したり、危険な方向へ投げたり蹴飛ばしたり、設備や施設を破損させたりしてはいけない。
- 7、言葉による侮辱
相手選手、アンパイア、観客らの中傷、侮辱する言葉を使ってはいけない。
- 8、身体に対する危害
相手選手、アンパイア、観客らに対し、悪意を持って直接触れ、または身体に危害を加える行為をしてはいけない。
- 9、ひわいな言葉
他人に聞き取れる声で放送禁止用語を口にしてはいけない。
- 11、コーチングおよびコーチ
プレーヤーは試合中にコーチングを受けてはいけない。
コーチは試合中および大会会場で相手選手、アンパイア、観客、大会役員などに対して言葉やジェスチャーを使って侮辱したり、暴力を振るったりしてはいけない。悪質なコーチに対し、レフェリーは試合コートあるいは大会会場から退場を命じ、その選手を直ちに失格にすることができる。
- 12、スポーツマンシップに反する行為
スポーツマンシップの礼儀をわきまえ、選手の品格、トーナメントの品位を損なう言動を慎む。

日本テニス協会審判委員会 松野えるだ